

## 第5回北海道新幹線倶知安駅周辺整備推進委員会 開催報告

### 1. 日時

2022年1月20日（木）14:00～16:30

### 2. 場所

倶知安町役場 2階会議室



### 3. 報告事項

#### （1）インバウンド観光勉強会の開催結果について … 資料1

（北海道運輸局 倉信課長）

- ・資料1について説明。

（木村委員長）

- ・今回の勉強会では、事業者の取組についてご説明頂いたような内容となっている。また、ひらふ地区のこれからの取組については、ホテルやエステートという立場からお話しいただき、有望な地域であるということ、質の良いリゾートを目指さなければならないということをお話しされていた。
- ・駅についてのご意見も資料に書かれているとおりだが、VIPルームというよりは倶知安らしい、風土に合った北海道を代表するような雰囲気を出せるようにすれば良いのではないか、というのが皆さん仰られていたこと。

（本田副委員長）

- ・木村委員長の述べられたとおり。1回目はインバウンド富裕層への対応に関する論議があった。スピーカーお三方口を揃えて、インバウンドの富裕層は千歳からリムジンバス車両で入ってくるので、倶知安駅としてはエコノミークラスの客層をターゲットとした内容を充実させた方が良い、というような話をされていた。
- ・もう一つはアクセスに関する話が出ていた。倶知安駅から、花園やひらふへの交通手段をこれから考えていかなければならない、といった意見が出ていた。そのあたりについてはレイアウト、プラスその後の動線をどうしていくか、といった全体的なまちづくりの話になっていくのだと思っている。2回目以降は、Ma a S等の新技術を利用した、いわゆる

エリアにどう付加価値を付けていくかというソフト的な面に関する論議が多いのではないかと考えている。

(木村委員長)

- ・ゲートウェイ駅としての必要な機能は何か、勉強会の皆さんとも詰めていきたいところ。ひらふエリアと倶知安駅との関係性についても話題になっていたが、深く議論した訳ではない。
- ・我々が駅周辺整備の検討を進めていく中で、重視すべき事項ということを、話題に出したいとも考えている。今後の勉強会の中でも議論を深めていき、また本委員会もそれに呼応するよう、共に検討を進めていくことができればと考えている。

## (2) くとさんパークあり方検討部会の設置について … 資料2

(植田係長)

- ・資料2について説明。

(木村委員長)

- ・我々の委員会からお二方ほど入っていただくということであるので、よろしく願いたい。また、これを託したいといった意見があれば伺いたい。

(本田副委員長)

- ・これから西口のあり方を検討していく中で、くとさんパークを町としてどう位置付けるか、全体としてどういう役割としていくか考えた中で議論していかなければ、ちぐはぐなものになってしまうのではないかと心配している。くとさんパークをどうするかという議論は市街地再整備事業のなかでも出てくるはず。そちらをやらないうちにくとさんパークについて検討するというのは、順番が違うのではないか。駅の西口に200台規模の駐車場が出来ると、くとさんパークの踏切側にある駐車場をどうするのかといった話も出てくる。セットで議論していかなければ上手く進まないのではないか。
- ・東口にあるロクさん像や、啄木の歌碑、あのようなものも含め、この委員会で今後検討していくと位置付けてはどうか。

(清水参事)

- ・全体的な構想も踏まえながら、くとさんパークあり方検討部会において煮詰めていくことができればと考えている。

(本田副委員長)

- ・わんぱく広場との関係もある。もし再編するならこのタイミングで一気に検討していかなければならないと考えている。

(吉田委員)

- ・観光協会に、在来線が廃止されるであろうという話が出ている。関連して、倶知安駅には鉄っちゃん（鉄道ファンを示す愛称）が大好きな物品があるということで、これをどこかに集約して展示するようなことはできないか。例えば、倶知安駅の木製の駅のご案内や、在来線の線路といった、鉄っちゃんからすると物凄い価値のある物品があるらしい。転車台も象徴たる物品であるが、合わせて考えていけばどうか。

(清水参事)

- ・並行在来線のあり方については、恐らく今年度内には方向性が出るといった状況にある。くとさんパークあり方検討部会において検討していくかどうかはもう一度考えさせていただきたいが、仮に廃止になり、転車台を移設して保存していく流れになれば、そのあたりも含めて検討していきたいと考えている。

#### 4. 議事

##### (1) 駅前広場の基本構想(案)について… 資料3

(ドーコン 朝倉)

- ・資料3について説明。

(柏谷委員)

- ・1ページ右側の短期駐車場について、歩道部分が付いて範囲が決められると、冬に両側に少しずつ雪が付くだけで、身動きが取れない場所になるのではないかと懸念している。もう少し歩道部分を左に寄せるか、歩道部分を無くし停めるような形などが考えられる。仕切りがあるだけで、冬場は全く入ることができないなど支障が出てくるのではないかと懸念している。まだ排雪や融雪に関する話が決まってない中ではあるが。

(ドーコン 朝倉)

- ・冬季の利用も考慮して今後の検討を進めていきたい。

(木村委員長)

- ・降雪地の駅での事例があると思うので、検証頂ければと思っている。
- ・今の倶知安駅前と同じくらいの台数を停めることができ、基本的には有料と考えて良いと思われる。
- ・前回2案として提示されたものと、駅前広場の大きさは変わらないと考えてよろしいか。

(ドーコン 朝倉)

- ・前回提示した2案とほぼ同じ。

(井馬臨時委員)

- ・4ページ、右側の方には青色の軌跡が入ってないが、路線バス③にぶつかるのではないかと懸念している。

(ドーコン 朝倉)

- ・軌跡を再度計算する。実際にはもう少し通り側の方へずれると思われる。

(井馬臨時委員)

- ・駅前広場から出ていく場合はY字に分かれる。駅前広場から出る場合は右へ行き、待機スペースからバスバースに向かう場合は左へ行く。また、タクシールールから停車スペースまで行く場合も右周りで行く。これらの場合、車両動線が輻輳する懸念がある。これがきちんと周知できるのか。もし、バスがまっすぐ行って、町内循環バスの方から町道へ出て行こうとすると、右左折で相当苦勞する。そこをきちんと周知する方法を考えなければならぬ。

(ドーコン朝倉)

- ・交通事業者との協議のほか、ソフト面、ハード面についても工夫していかなければと思っ

ている。ご意見も含めて検討したい。

(吉田委員)

- ・交番はどうするのか。

(清水参事)

- ・レイアウト案に基づき、今後基本設計図の作成を進めたいと考えている。2月位にもう一度案を示し協議していく中で、交番について再度確認したい。

(本田副委員長)

- ・交番について提案がある。1ページを見て頂くと、右側の一般乗降の上、都市施設の部分に空間がある。例えば、都市施設もう少し長くして、都市施設の中にその一部として交番を入れてはどうか。

(清水参事)

- ・そういった提案も道警に示していきたい。

## (2) 都市施設の基本構想(案)について… 資料 4

(ドーコン 朝倉)

- ・資料4について説明。

(木村委員長)

- ・今回議論したいのは、いわゆる基本構想レベルのところ。何が必要なのか、どのあたりにあれば良いのか、というところを議論していただき、次年度以降に繋げていきたいというのが今回の意図。前回のものをまとめて頂いて、ほぼ最終形に近いような基本構想レベルのものが出来たと思う。例えば、物販や情報発信機能が広いと言いながらも、事務室をどこに配置するのだとか、バックヤードが必要になる、といった議論は次年度の話になる。機能の大雑把な配置について、異議のある方が居れば意見を聞きたい。

(柏谷委員)

- ・機能について質問がある。旅客トイレ／待合室は、改札内へ入った人が使うものなのか。外側は壁になるイメージなのか。

(鉄道・運輸機構 松谷課長補佐)

- ・都市施設側で同じような機能が近くにあれば重複してしまうので、その場合改札の中に入れるというように考えている。

(佐藤委員)

- ・2ページの図面について、待機機能が自由通路から見た北側に集約されている。情報発信機能と物販機能にも第2の待合機能や小さな休憩スペースがあれば、そこでパンフレットを閲覧することなどもできる。わざわざ待機機能へ行くよりも良いのではないかと思っています。そうすれば、例えば冬の場合にも、暖房機能を左側のみに集約するということも考えられるのではないか。

(ドーコン 朝倉)

- ・新函館北斗駅においても、観光案内所は仕切りの無いものとなっており、寛げるスペースがある。非常に良い案だと思う。

(木村委員長)

- ・暖房は無いよりもあった方がよい。意外と、暖房が無い新幹線駅でクレームが出てきている事例が結構ある。出来る限り入れた方がよいとは思っているが、ランニングコストの問題もある。

(柏谷委員)

- ・昨日たまたま、別の集まりで食関係の方から言われたことであるが、忘れないうちに発言しておきたい。前回、滞在機能や多目的スペースというのは、使い方を失敗するとかえって使えないスペースになるといった話も出ていたが、キッチンスタジオがあればちょっとした交流が出来たり、展望テラスなどでイベントを実施する際になにかと助かる、色々な幅が広がる、という話が出ていた。頭に置いておいていただきたい。

(本田副委員長)

- ・吹き抜けにするかしないか、というのは今後の議論になるのか。

(ドーコン 朝倉)

- ・今後の議論になると思われる。

(峠ヶ委員)

- ・インバウンド観光勉強会にて、駅の施設について、ミーティングスペースを入れてはどうかという意見があったと思う。ミーティングスペースを入れても良いと思う。

(金塚委員)

- ・1階の物販機能について、6ページに示される写真のような形も良いが、これらは棚や机を固定しているものが多いと思われる。例えば、札幌の「TSUTAYA美しが丘店」では、物販によって棚の位置を変えられる。じゃがいものコンテナに用いる板のようなものがあるが、そういったものを上手く綺麗に活用している。このように、自由に物販によって位置を変えられるような物販機能を持たせることが出来れば良いと思っている。

(ドーコン 朝倉)

- ・特に北海道では、季節によって客の入込の変動や、秋では農産物が沢山あるが冬にはない、といったことが考えられる。季節ごとに演出できるような物販機能について、今後の議論の参考にさせて頂きたい。

(木村委員長)

- ・今頂いたキッチンスペースなどに関する意見は、どの段階で議論を本格化していくものであるのか。スケジュール感はあるか。

(清水参事)

- ・都市施設の議論については、導入する機能や規模、配置、そういった基本構想レベルの議論が固まってからであると考えている。さらに要望書を今年6月頃に機構へ提出した後に、駅舎の基本設計を進めることとなっている、その中で都市施設の一体的な設計を進めていきたいと考えているので、今年の夏以降に具体的な大きさや配置を煮詰めていくことになる。来年度は駅舎、都市施設の基本設計を進める。さらにその案を以て、令和5年度初めに、機構からデザイン3案を町に提案いただく。3案のうち1案を選択した後、令和6年度頃から実施設計、詳細設計を進めていく、そういったなかで最終的な決着になるものと考えている。

(窪田委員)

- ・機能的なものは、提示されている案の中に大体網羅されているのだと思っている。
- ・待合機能というか、座るスペースは色々なところに展開されていた方が良い。その場所での使われ方というのがあると思う。先程、情報発信機能の横に配置してはどうかという話があったが、例えば物販機能の方にもあれば、テイクアウトしたものを食べられるスペースになり、荷物をパッキングするときにも使うことができる。コインロッカーを一カ所に作られるかというのも今後の議論になると思われるが、大荷物をパッキングする際には荷物を展開することもある。このようなことを考えた際にも、荷物を取り出したところで腰掛けながらパッキングできるように、座ることのできるスペースが1箇所ではなく、色々な所に配置されると、使いやすい場所になっていくのではないかなと思われる。
- ・勉強会の中でもテーマになっていたが、荷物の置きやすさは凄く大事だと思っている。大きな荷物を持って町を回遊して貰おうと思ったとき、ちょっと簡単に預けられる場所があるかどうか、町内への出やすさにも影響してくると思う。その辺りは、色々なタイプのものを仕込んでいけばいいのだと思う。確か小田原駅では、トイレの外に、チェーンのようなもので荷物を括っておくことが出来るスペースがある。荷物の扱いやすさを工夫していくことが出来れば良いなと思っている。
- ・展望スペースについては最近、ホテルの屋上などの例では、段々状になっているような場所に、分厚いマットや椅子を自由に持っていき、自分の居場所作って景色を眺めることができる。そのような自由な展望スペースを整備出来れば面白いかなと思う。

(木村委員長)

- ・東京では足湯を置いている例もある。

(吉田委員)

- ・着替えのスペースを1カ所整備してはどうか。スキー客や自転車客のことを考えると、本当はシャワールームがあれば良いのかもしれないが、そこまでは厳しいのだと思う。更衣室をどこか隙間があれば、考えて頂きたい。

(木村委員長)

- ・トイレの前の物置スペースは今まで出てこなかった話であると思う。
- ・トイレ周りとしては、意見のあった更衣室がある。今は空港にも更衣室が設置されている事例がある。場所をとるので、早めにレイアウトを考えた方が良いのかもしれない。

(本田副委員長)

- ・シャワーについて、商工会議所で先日町に提案した中で、石蔵倉庫のアクティビティ拠点の中に、実はシャワールームと更衣室がある。その辺との兼ね合いも今後、駅の方が良いのか、アクティビティ拠点の方が良いのか、これから整合性をとっていかなければならないのかと思っている。
- ・見せ方の話だが、情報発信機能284.2㎡、物販機能70.8㎡と区切られているが、この場所全体が情報発信機能&物販機能である、とした方が良いのではないかなと思っている。5ページの飯山駅の例では一体化されている。見た目で心理的に固定されてしまうより、このフロア全体で情報発信と物販を演出する、というように魅せてはどうか。
- ・また、金塚委員の意見に大賛成。季節によってお土産は変わらないものと変わるものがある

り、変化を付けたほうが良い。寿都、古平、岩内の方々も倶知安駅にすごく期待している。羊蹄山麓のみならず、寿都、岩内、積丹の物販も意識していくことを考えると、海の演出、山の演出、川の演出といったように、魅せ方を変えていくと面白いのかなと思っている。

(柏谷委員)

- ・金塚委員や本田副委員長の意見のイメージが良いとは思っているが、そうなるとトイレの配置はどうなるのか。防犯上、シャッターが閉まった際にトイレが使えないなどの事態になるのか。配置は自由通路に寄せたほうが、自由が利くのか、また自由度を設けた時に悪さをするのかどうか気になっている。

(木村委員長)

- ・駅施設というのは基本的に始発から、終電までで閉まるという考え。トイレについても一般開放するのかどうか、道の駅のように24時間オープンさせるのかという議論も含め、考えなければいけないことであると思う。

(柏谷委員)

- ・物販は、駅が動いていても閉まっている時間がある。今の配置イメージ案だと問題は無いと思ったが、情報発信機能、物販機能、トイレを混ぜて使うと、どうなのかと思った。

(木村委員長)

- ・観光案内所が閉まって、終電までのトイレとなると、JR側のトイレしか使用できなくなる。そういう意味では、トイレの場所や、トイレをいつ使えるようにするのか。使えないのであれば、旅客トイレを外からも入ることのできるように協議していく必要も出てくる。今の点は重要だと思う。

(ドーコン 朝倉)

- ・非常に重要な指摘を頂いたと思っている。自由通路については、24時間開けるのか、始発から終電までとするのか、ということも検討していかなければならない。また自由通路と都市施設の間の扉をどう設置して、扉はどんな形状にしていくのかということも検討していく必要があるのだと思っている。

(木村委員長)

- ・5ページについて、飯山の観光案内所はすべて可動式であり、ここでイベントもできるように考えられている。季節ごとにレイアウトが変わっており、いつ来ても新鮮に感じられる。

(本田副委員長)

- ・全国の新幹線の物販機能は、基本的に始発から終電まで開いているのか。
- ・仮に、都市施設に時間制限を設けると、待合室がJRの中にしかない。仮に情報発信の反対側を先に開けるとなると、エレベーターで2階に行けば、結局降りてこなければならぬ事態になる。この辺りは考えなければならぬ。

(木村委員長)

- ・JRも直営ではなく、グループ会社が経営するようなコンビニエンスストアや飲食店がある。基本的に商売が出来るときでなければ開けないというのが鉄則とのこと。あとは、民間で入る場合もあるが、終電まで空けているところはほぼない。大勢のいるターミナル駅ですら開けていないところもある。基本的には商売ベースになる時間帯が空いているとい

う考えが良いと思う。開いていない時間帯をどうするのかという議論は当然していかなければならない。

(J R 北海道 野澤主幹)

- ・基本的にはそのような考え方。なお、釧路駅のように、朝6時の時間帯に札幌行きの特急があるため駅構内のセブンイレブンは6時から開店しているところもある。
- ・高架下に公共的な通路を線路方向に設け、その空間に人が入れるようなスペースをすることで、仮に物販機能が閉まっている時間帯でも他の機能を利用出来るという、レイアウトの工夫をすればいいのかと思っている。

(木村委員長)

- ・J R 北海道、機構がよく相談することで一番合理的なものが出来上がるのではないと思う。引き続き協議を進めて頂きたい。
- ・果たして風除室が要るのかどうか。風除室がある駅の事例はそれほどないという気がしている。建物の形状によっては雪や風雪を乗せてしまうということも考えられる。その辺りも考えていたほうが良い。
- ・高輪ゲートウェイ駅をあえて掲載して頂いたのは、近代的でありながら木の暖かさを出している事例であるから。勉強会のほか今までの議論の中でもあったが、例えばホームまで木目調になっているような、全体的に木のトーンが沢山出ているといった要素は、倶知安、ニセコらしさを演出する上でも共通する所だと思っている。都市施設作るときのデザインとも合わせていくということも、考えていかなければならない。全体的な空間づくりの中で壁や床の素材にこだわっていく必要がある気がしている。

(柏谷委員)

- ・高尾山の駅だと、電車に乗る前に、登山客が靴を洗うことのできる水道やブラシが備えられている。この辺りだとサイクリングでパッキングする人がいる。パッキングする際に汚れた自転車を水で流して拭いたりできるようなところや、エアーで雪を落とすことが出来る場所があれば良いと思う。

(木村委員長)

- ・例えばアクティビティセンターが出来るのであれば、そこを経由して帰って来てもらう。コインロッカーの越後湯沢駅の例で、年間保管するというものがあつたが、その機能をアクティビティセンターへ移し、管理していた方が、地元にお金が落ちる。
- ・ちなみに飯山駅は、都市施設の前に小さなせせらぎが流れていて、10cm位の高さで流れているが、ちょっと足が汚れた人はそこで洗うことができる。デザインで作ったものが、そのように使われている。なかなか蛇口だけ設置することは難しいので、何かそういう工夫があれば良いと思っている。

(窪田委員)

- ・レイアウトについて気になっているところがある。2階に飲食機能や休憩所がメインで入って来ると言いつつも、1階の屋外の広場に、夏場に中の機能が外ににじみ出るような一体的なスペースもあれば良いと考えている。今それが出来る可能性がある場所は、恐らく舗装した広場的なスペースがあるという情報発信機能の上側。また、今の広場形状から考えると、待合機能とコインロッカーの部分が広場に面した部分になると思う。少し開放的

にして、広場と一体的な空間を作ることが出来る。今の待合機能とコインロッカーのところになるとしたとき、ロッカーをここに置くのはもったいないと思っている。それから駐輪機能や、もし更衣室などのスペースが出来るということになれば、トイレ周りにそういうものが集約されていき、広場と一体的な雰囲気を作ることが出来るような機能を持って行った方が良い気がしている。検討可能であればお願いしたい。

(金塚委員)

- ・北海道の色々なキャンプ場へ行くことがあるが、キャンピングカーを道の駅で、路駐で楽しむ方もいる。もし倶知安町でもそれをやってみたいとなった場合、駅の裏側に大きい駐車場があると思われるが、そこにキャンピングカーを駐車しても良いというスペースがあれば良いのではないか。トイレ機能も24時間使うことが出来たほうが良いと思う。もしトイレ機能がここにあるのであれば、外に入口を作り、中側のトイレに錠をかけるようにすると、トイレだけは24時間使うことができるのではないか。コロナ禍も結局のところ続くので、キャンプ、アウトドア需要はまだまだ続くと思う。

(木村委員長)

- ・駅にキャンプ施設があるというのはある意味画期的かもしれないが、キャンピングカーが駐車すると、暮らし始めてしまう人がいる。全国の道の駅の会議では毎回話題に上がるほど。その辺りの整理ができ、かつ画期的な、倶知安町らしさという面では、そうしたものがあっても良いかもしれない。

(柏谷委員)

- ・高架下を借りるときのルールは、支柱から支柱の間であるというように決められているのか。駐輪場の幅が決まっていて、思ったより広いという場合、そこに物を置くことは出来るのか。現在駐輪機能は4mとされているが、高架下は何mでも使うことが出来るのか。

(J R 北海道 野澤主幹)

- ・支柱の間ということはない。お借りしたい部分をお貸しするということになる。
- ・意見を言わせていただきたい。駐輪機能を資料のように線路直角の縦長にすると線路方向の高架下空間の連続性が分断されてしまう。この形は無いと考えている。
- ・高架下の駐輪場へ向かう動線として、自由通路では、自転車の通行をどうするのかという点も課題になる。自転車を手で押すのか。その辺りの整理をして、トイレ機能と同様の形で駐輪場を高架下西側半分に持っていくというようなことが考えられる。旭川駅でも高架下の半分だけを駐輪場としている。参考にして頂ければ。また、駅西側の方に自転車置き場を設定するためには、自転車を押しながら自由通路を横断する必要がある。このため、自由通路の管理のあり方とセットで議論することになると思う。

(木村委員長)

- ・高架下利用に関しても、駐輪場のことだけではないと思われるので、これから議論をしていかなければならない。都市施設については機構と連絡、調整、議論をしながらまとめていくということであるので、今回で決まったということではない。基本的な構想レベルとしてはこのような案になるということであるので、まだ安心して頂きたい。次回にはもう一回整理して頂いて、議論して頂くということにしたい。

(本田副委員長)

- ・色々な意見が出ており、それらを詰め込むと非常に狭い駅になってしまう。石蔵倉庫など周辺の整備も含めて、トイレに関しても、外にはくとさんパークのトイレが24時間開放されている。旭ヶ丘の活用をどうするといったことも含めた中での、全体的な動線の使い方を議論しなくてはならない。ここだけに集中してしまうと、いろどりみどりの駅になってしまう。もう少し範囲を広げた中での、今検討が進むであろう部分も含めたなかで、コンテンツの検討を進めたほうが良いと思っている。

### (3) 駅舎デザインコンセプトに関する要望書(案)について… 資料5

(ドーコン 朝倉)

- ・資料5について説明。

(木村委員長)

- ・ABC案については前回ご意見を伺い、写真の内容についての議論があった。今回は羊蹄山を中心に据え四季を出したイメージとなっている。写真の配置やタイトルについてのご意見はあるか。

(本田副委員長)

- ・多数決で決定しても良いと思われる。

(木村委員長)

- ・本日出席されている委員は10人いる。良いと思う案に記入いただき、それを集計する。

(本田副委員長、吉田委員)

- ・秋の写真は、他に良いものがないのか。

(木村委員長)

- ・秋の写真についてはお二方から異論が出ている。観光協会提案の写真を使わせていただくということで、一任したい。
- ・また、羊蹄山でいいのかという話も聞こえている。羊蹄山の4つの四季のイメージでは駄目だという方はいるか。

(柏谷委員)

- ・5ページ、「②四季を感じられる駅」も、そこに四季の写真を使うかどうかで変わるのではないか。どちらも四季の写真を用いるのであれば表紙には羊蹄山を掲載するのか。写真の使い分けはあるのか。
- ・どんな駅の使い方をイメージするかにより、例えばアクティビティのイメージを四季の写真で表現するということも考えられる。

(木村委員長)

- ・デザインコンセプトの表紙は羊蹄山の写真とする。
- ・5ページ「②四季を感じられる駅」については、羊蹄山以外の季節の代表的なものにする。異論のある方はいるか。

(一同)

- ・異議なし。

(木村委員長)

- ・では2ページ、秋の写真については観光協会に一任して羊蹄山の秋の写真を入れて頂く。  
秋は差し替えるが、デザインとしてはA B C案どれがいいか白票に記入いただきたい。

(ドーコン 朝倉)

- ・我々の手違いで、A案とB C案の冬の写真が微妙に異なるものとなっている。

(木村委員長)

- ・冬については、もう少し良い写真を本田副委員長が所持しているとのこと。

(ドーコン 朝倉)

- ・承知した。お送りいただければそちらに差し替える。

(木村委員長)

- ・それでは秋冬の写真は差し替えるということで、A B C案へ投票いただきたい。

(一同)

- ・A B C案へ投票。

(木村委員長)

- ・それでは集計している間に次へ進みたい。3ページ以降の6項目についてイメージを要望するが、掲載している写真についてご意見を伺いたい。まず、4ページの写真について意見はあるか。

(柏谷委員)

- ・前回の会議には出られなかったのだが、前回の会議の前に、何か良い写真が無いかと問われ、皆対応したのではないかと思われる。それは前回議論をして、今回の案となったのか。

(木村委員長)

- ・前回議論をして、皆様方になにか良い写真やイメージがあれば考えて頂きたい、と軽く宿題を出したつもりであったが、本日それをご披露頂いていない。それも含め、今回このようなものがあるご意見頂ければと思っている。

(金塚委員)

- ・4ページ、上越妙高駅の写真と早雲山駅の写真は、室内から山が見えるという形で同じような内容かと思われる。どちらか一方を屋上から山が見えるといった、展望テラスから見えるような写真にしてはどうか。

(ドーコン 朝倉)

- ・承知した。再度検討する。

(木村委員長)

- ・上越妙高駅は、眺めが分かるようなきちんとした写真があると思う。

(ドーコン 朝倉)

- ・なかなか入手することが出来なかった。良い写真がなく、非常に申し訳ない。

(木村委員長)

- ・金塚委員のような案をもう少し再考いただきたい。上越妙高駅の写真については、上越市に問い合わせしてみる。また、左側の倶知安駅の写真ももう少しすっきりしたものがあれば探して頂きたい。
- ・5ページについては、先程話があったように、羊蹄山以外のアクティビティのイメージを

掲載する。

(ドーコン 朝倉)

- ・我々では写真の入手が限られるところであるので、可能であれば、地元の写真素材があればお送りいただきたい。

(木村委員長)

- ・それでは、特に地元の皆様にお願ひする。倶知安、ニセコエリアの四季に代表されるような写真のデータあれば送っていただきたい。
- ・飯山駅の標柱の写真については、ライトが点灯したものに差し替えたいと思っている。現在飯山市に問合せており、回答待ちとなっている。
- ・6 ページでは木調で内装を整えた所や、什器、備品に関する写真が入っている。こちらについてご意見はあるか。

(峠ヶ委員)

- ・4 つとも駅の写真となっているので、2 つは地域産材の写真があれば良いと思う。

(ドーコン 朝倉)

- ・羊蹄ニセコエリアのカラマツの林の写真などになるのか。

(峠ヶ委員)

- ・木材の丸太の写真などを想定している。

(木村委員長)

- ・例えばそれを、写真ではなく言葉で入れるというのはどうなのか。

(ドーコン 朝倉)

- ・要望書にて素材を指定されると機構で困ることはないか。後志地域ではこのような素材がある、などが列挙されていれば反映がしやすいのだろうか。

(鉄道・運輸機構 松谷課長補佐)

- ・あくまで、例として書いて頂ければ良い。我々も地域の素材をできるだけ使いたいと考えている。何故この木材を選んだのかといったストーリーがあるとPR 効果も高い。例えば、スギの北限は長万部町や黒松内町付近までであり、倶知安周辺から北はこういう樹種が多くなるなど、話題となるものがあるとこちらも説明がしやすい。

(ドーコン 朝倉)

- ・そういう意味では、倶知安町や後志地域では以下のようなものがある、という書き方であると良いのか。

(木村委員長)

- ・地域産材をモニュメントに使っている駅の写真などではどうか。

(ドーコン 朝倉)

- ・札幌駅の前には木を4 分割して建てたモニュメントがある。あれは札幌市内の木を使っているもの。

(木村委員長)

- ・地域産材を柱として用いた駅もある。ああいう写真ならば地域産材のイメージが湧くかもしれない。

(ドーコン 朝倉)

- ・今までの話を踏まえ、木材の種類を列記するようなものを入れたい。イメージ写真としては、この4つとしたい。

(柏谷委員)

- ・調達できる木材について、振興局もカタログを作成している。

(木村委員長)

- ・高尾山口駅の写真は、立て看板が立てられていないようなものはないか。なにかすっきりしたものがあればと思っている。

(ドーコン 朝倉)

- ・これは得票数も少ないものであったので、モニュメント等の写真へ差し替える。

(木村委員長)

- ・7ページ、飯山駅の右側の写真が閑散としているように感じる。「出会う」ような、人が入っている写真の方が良いのかもしれない。

(ドーコン 朝倉)

- ・資料4、9ページのバンクーバー空港の写真もこの部分の候補となっており、飯山駅の写真と同様の得票数であった。そちらに差し替えるようにする。

(木村委員長)

- ・8ページの写真は、少しパツとしない気がしている。

(ドーコン 朝倉)

- ・前回、後ろの山が見えたほうが良いという意見があり、今回のような写真となっている。

(木村委員長)

- ・ここも公募にする。地元の皆様にご協力いただきたい。
- ・9ページ、ここは7ページの写真とイメージが少し重複してしまう。

(ドーコン 朝倉)

- ・9ページについては、高級感をイメージして写真を掲載している。

(木村委員長)

- ・地域の人がイベントやマルシェを実施し、駅で賑わいが創出されているようなイメージが7ページ、インターナショナルなイメージが9ページなのだと思っている。

(柏谷委員)

- ・駅とか空港の写真でなければ駄目なのか。他所のサンプルを出してしまうと、結局他所の駅の真似事にしかならないのではないか。駅や空港とすると、どこかの駅、どこかの空港に絞られてくる。「賑わい」という話があったが、駅じゃない、倶知安町や地域のイメージの賑わいもある。設計屋さんは駅と空港の写真からイメージを持ってくるというより、地域を象徴する集まりや賑わいのイメージから設計するのではないか。駅や空港に寄らなければいけないのか。2、3個の駅の集大成のようなものになるのか。

(佐藤委員)

- ・この写真に拘る必要はないと思う。

(鉄道・運輸機構 松谷課長補佐)

- ・写真のメリットは、言葉だけでは伝えづらいイメージを共有出来るということだと思う。

極端なことを言うと、要望書では具体的な施設名を記載しなくても問題なく、こういった空間の駅を造りたいという意図が伝われば良いと考える。よってイメージが伝われば駅などに縛られなくても良いのではないかと考えている。

(木村委員長)

- ・地域産材の写真と、地域の方が納得するようなイメージを重ね合わせても大丈夫ということである。そうすると抜本的にひっくり返ることにもなるが、今議論したものは置いておいて、さらにイメージが出来るようなものをプラスして、次の議論に入るというのはどうか。ただ周辺計画と調和した駅という意味では、羊蹄山やニセコ連山も入って来なければいけないということで、ここはそんなに大きくイメージする必要はないと思っている。

(佐藤委員)

- ・花園にあるスキーセンターの内観はとっても国際的なリゾート地のイメージで、結構木材を使っている雰囲気がある。9ページにはああいうものが入っても良いのではないか。

(木村委員長)

- ・それぞれの6テーマについて、皆様が思う、地域のイメージに合う写真を送っていただきたい。

(清水参事)

- ・事務局から皆様のアドレスに空メールを送る。それに返信して頂く形で、月内にお送りいただけると助かる。

(木村委員長)

- ・それでは投票の結果、10人のうち8人が指示をしたA案に決定する。要望書については引き続き勉強会も踏まえながら検討を進めていきたい。

(清水参事)

- ・次回の委員会は2月25日(金)14時から開催させていただきたい。よろしく願いたい。

## 5. 閉会

以 上